

栗中だより

全国学力・学習状況調査調査
結果分析 2022.9 発行



4月19日(火)に行われた「令和4年度全国学力・学習状況調査」の本校の結果についてお知らせいたします。調査のねらいを踏まえ、子どもたち一人ひとりが「分かる喜び」や「学ぶ楽しさ」を感じることで授業となるよう、今後も改善に努めてまいります。ご家庭でも、ご支援、ご協力をお願いいたします。

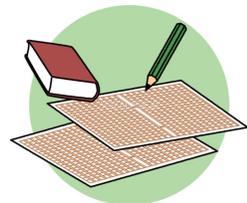
〈分析結果の表記について〉

- ・「さらに伸ばしたい部分」：本校の強みの部分をさらにのばすための取組
- ・「課題として取り組む部分」：本校の弱みの部分についての改善策

教科に関する結果から

『国語』について

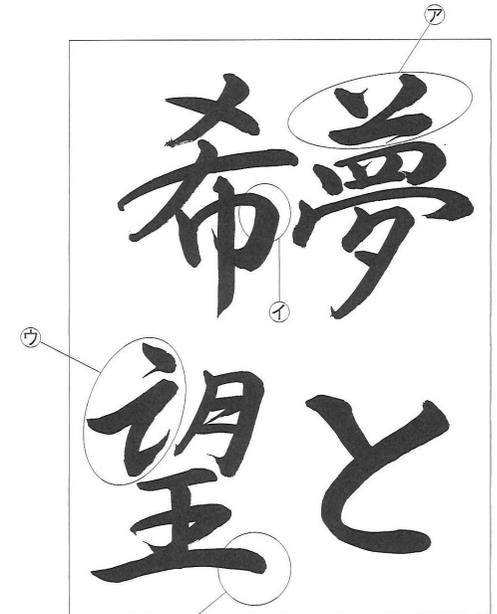
さらに伸ばしたい部分	課題として取り組む部分
<p>○漢字の書き取りや表現の技法に関する問題の正答率が県平均を上回っており、日頃の基礎的な学習が定着しているといえます。</p> <p>→ ことわざや四字熟語、慣用句などにふれる機会を増やし、すべての学習の基礎となる語彙力をいっそう高めていきます。</p> <p>○特に「記述式」の解答における正答率が県平均を上回っています。自分の考えを持ち、表現しようと努力することができています。</p> <p>→ 相互添削や意見の交流を通して、求められる条件を満たして書いたり話したりする力を伸ばします。</p>	<p>△「選択式」の解答における正答率が県平均を下回っています。根拠が明確でないまま、もっともらしい選択肢を選ぶ傾向があるといえます。</p> <p>→ 根拠を明確にして自分の考えを書いたり話したりする活動を多く取り入れていきます。</p> <p>△「我が国の言語文化に関する事項」に関する問題の正答率が県平均を下回っており、書写に関する知識が十分には定着していないといえます。</p> <p>→ 鉛筆や筆ペンを用いた書写の学習の機会を増やし、日常に生きる書写の知識・技能の定着を図ります。</p>



【課題として取り組む部分】の問題例 国語

- 1 画数の多い「夢」が他の文字より小さい。
 - 2 画数の少ない「希」が他の文字より大きい。
 - 3 「望」について部首と他の部分とが離れすぎている。
 - 4 「希」と「望」について行の中心がずれている。
- 三 【書き直した文字】の「と」の書き方について説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 1 全ての線が直線的になるように意識した書き方。
 - 2 線が連続するように意識した書き方。
 - 3 漢字より大きくなるように意識した書き方。
 - 4 筆圧が一定になるように意識した書き方。

二 【最初に書いた文字】について、青山さんは「漢字のバランスが悪い」と述べていますが、その具体的な内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。



【最初に書いた文字】

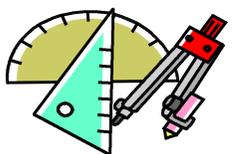


【書き直した文字】

解答 2

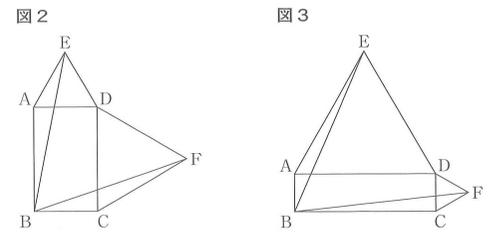
解答 4

『数学』について

さらに伸ばしたい部分	課題として取り組む部分
<p>○簡単な連立方程式を解く問題ができています。</p> <p>→ 基本的な連立方程式の問題だけでなく、カッコや分数を含む問題にも取り組みます。また、式を立てる活動も積極的に取り入れていきます。</p> <p>○「ヒストグラム」の特徴をもとに、より長い時間回りそうなコマを選び、理由を説明することが県平均・全国平均を上回っています。データの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができます。</p> <p>→ 答えを求めるだけでなく、図や表をもとに関係性を見だし考察する活動を、今後も継続していきます。</p> 	<p>△数を素因数分解する問題に課題が見られます。</p> <p>→ 「素因数分解」という言葉を忘れていたり、やり方を忘れていたりすることが考えられます。日頃の授業では、素因数分解の定着を図ることや、曖昧な表現に頼らず、数学用語を積極的に使いながら活動することを意識させていきます。</p> <p>△筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明する問題に課題が見られます。</p> <p>→ 県平均や全国平均と比べ、無回答が少なく、何とか問題に答えようとする姿勢が見られます。しかし、根拠を見付け出し、順序よく組み合わせて、課題を解決することが苦手です。与えられた条件をしっかり解釈し、上手く活用する力をつけさせていきます。</p>

【課題として取り組む部分】の問題例 数学

(2) 琴音さんは、次の図2や図3のように、21ページの図1の長方形ABCDの辺の長さをいろいろに変えた図をかきました。このときも、 $\triangle ABE \cong \triangle CFB$ が成り立つので、 $EB = BF$ がいえます。琴音さんは、 $EB = BF$ 以外にも、辺や角についていえることがないか調べました。

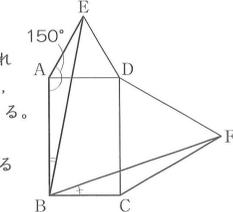


調べたことから、琴音さんは、長方形ABCDの辺の長さを変えても、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になると予想し、次のように考えました。

琴音さんの考え

◇ $\angle EBF$ について、
 $\angle ABC = 90^\circ$ より、
 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ がいえれば、
 $\angle EBF = 90^\circ - 30^\circ$ となり、
 $\angle EBF$ が 60° になることがいえる。

◇ $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることは、 $\triangle ABE \cong \triangle CFB$ からわかる等しい角と、
 $\angle EAB = 150^\circ$ を用いて示すことができる。



$\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ を示すことで、長方形ABCDの辺の長さを変えても、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることが説明できます。琴音さんの考えの◇にある $\triangle ABE \cong \triangle CFB$ と $\angle EAB = 150^\circ$ はすでにわかっていることとして、 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることを下の説明の□に示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成しなさい。

説明

$\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることが示せたので、
 $\angle EBF = 90^\circ - (\angle ABE + \angle CBF)$ より、
 $\angle EBF = 90^\circ - 30^\circ = 60^\circ$ になる。

解答（例）

$\triangle ABE \cong \triangle CFB$ より
 $\angle AEB = \angle CBF \dots \textcircled{1}$
 また三角形の内角の和は 180° 、 $\angle EAB = 150^\circ$ より
 $\angle ABE + \angle AEB = 30^\circ \dots \textcircled{2}$
 $\textcircled{1}$ 、 $\textcircled{2}$ より
 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$

『理科』について

さらに伸ばしたい部分	課題として取り組む部分
<p>○静電気や燃料電池など日常生活で見られる現象と理科を関連づけて考えることができます。</p> <p>➔天気や化学反応、バイオなど身のまわりの現象やそれを活用したものを紹介したり調べたりする活動を取り入れ、より理科を身近なものと感じられるようにしていきます。</p> <p>○分子のモデルを表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表すことができます。</p> <p>➔元素記号や化学式を用いた化学反応式は中学理科の柱の一つです。それぞれの現象についての化学反応式が書けるように、基礎基本を大切に知識が定着するための活動を取り入れていきます。</p>	<p>△おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する問題に課題が見られます。</p> <p>➔目に見えない音や力、エネルギーの分野は本校のみならず、全国の正答率も低いところです。目には見えない現象を図やモデル使って表しながら説明したり、作図しながら理解を深めたりする活動を取り入れていきます。</p> <p>△探究の過程における検討や改善を問う設問について、他者の考えの妥当性を検討したり、実験の計画が適切か検討して改善したりする問題に課題が見られます。</p> <p>➔考察の妥当性を高めるために、実験結果の処理について振り返り、測定する間隔や範囲などの改善の視点を明確にした上で、実験の計画を検討して改善する学習活動を取り入れていきます。</p>

【課題として取り組む部分】の問題例 理科

(1) 図2のように、ばねにのせたおもりが静止したとき、矢印で表したおもりにはたらく重力とつり合う力を、下のアからエまでのの中から1つ選びなさい。

また、選んだ力の説明として適切なものを、下の力からケまでのの中から1つ選びなさい。

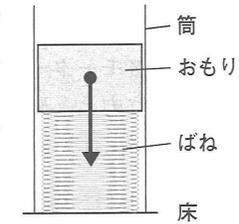
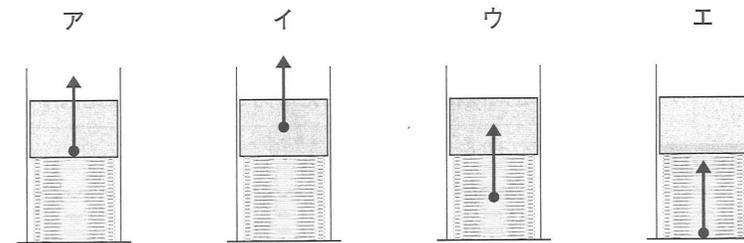


図2 おもりにはたらく重力



- カ おもりがばねを押す力
- キ ばねがおもりを押す力
- ク おもりが床を押す力
- ケ 床がおもりを支える力

解答 ア / キ

生徒質問紙の結果から

さらに伸ばしたい部分	課題として取り組む部分																												
<p>○難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか</p> <table border="1"> <caption>挑戦している割合</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>当てはまる (%)</th> <th>どちらかといえば当てはまる (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本校</td> <td>28</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>25</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>22</td> <td>43</td> </tr> </tbody> </table> <p>○難しいことにも挑戦している生徒の割合が高いです。</p> <p>➔難しいことに挑戦していく前向きな姿勢は、自分を高めていく上で非常に重要です。そのような前向きな姿を認め、失敗を恐れずに安心して物事に取り組める雰囲気づくりをこれからも大切にしていきます。</p>	対象	当てはまる (%)	どちらかといえば当てはまる (%)	本校	28	52	県	25	45	全国	22	43	<p>○1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか</p> <table border="1"> <caption>読書の時間</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>1時間以上 (%)</th> <th>30分以上1時間未満 (%)</th> <th>10分以上30分未満 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本校</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>△日頃から読書をしている生徒の割合が低い傾向です。</p> <p>➔スマホが普及し、本よりもスマホに費やす時間が多い傾向です。学校では、図書館の利用を促進し、本を読む楽しさを子どもたちに感じさせていきます。</p>	対象	1時間以上 (%)	30分以上1時間未満 (%)	10分以上30分未満 (%)	本校	5	10	25	県	10	15	35	全国	12	15	33
対象	当てはまる (%)	どちらかといえば当てはまる (%)																											
本校	28	52																											
県	25	45																											
全国	22	43																											
対象	1時間以上 (%)	30分以上1時間未満 (%)	10分以上30分未満 (%)																										
本校	5	10	25																										
県	10	15	35																										
全国	12	15	33																										

地域の皆様に支えていただき、粟中生はがんばることができています。これからも学校と家庭・地域がよりよい信頼関係の中で教育活動を進められるよう、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。